優良企業のトップに聞く

仕事論 Top Interview

トレーラーハウスを文化に。想いをかたちに、技術力で躍進。



取締役副社長
坂本 有美
さかもと ゆみ

Profile
2009年パート社員として当社へ入社。
2010年に単身中国へ渡り起業。その後会社を売却し、帰国後は正社員として再入社。
管理部門での実績が認められ2012年、取締役に就任。管理統括責任者として技能実習生の受入れ、社内の制度、業務フロー等を整備。
2013年、取締役副社長に就任。

トレーラーハウスデベロップメント 株式会社

トレーラーハウスデベロップメント　[URL] https://www.trailer-house.co.jp/

業界のパイオニア企業 これからの「インフラ」が製品

トレーラーハウスをご存じでしょうか。簡単にいえば、「車輪がついて移動できる居住空間」のこと。法的には被けん引自動車に該当し、シャーシと呼ばれる車台の上に居住空間があり、牽引車でけん引して運べるようになっています。アメリカを発祥とし、住居やコテージなどのホテル代わりの用途を中心に広まっていきました。私たちはこのトレーラーハウスを商材とする専業メーカーです。代表の大原邦彦が2007年5月、別荘地用のトレーラーハウスをアメリカから輸入して個人向けに販売を始めたのが第一歩になります。その後、法人向けにターゲットを切り替え、自社工場を構えてトレーラーハウスおよび専用のシャーシを製造・販売。現在はお客様の9割以上が法人です。

「トレーラーハウスを日本でも文化として根付かせたい。人の役に立つものにしたい」ということをモットーに、反響営業のみのスタイルで、約20年の歳月を歩んできました。多用途で使える商材という認知が広がり、近年では当社トレーラーハウスを活用した様々なニーズが生まれています。事務所や店舗にはじまり、喫煙スペース、サウナ、グランピング施設、熱中症対策室など用途は幅広く、また地震などの被災地において避難所、移動型のトイレやコインランドリーなど災害支援の役割も果たしています。当初は苦しい時代もありましたが、業界のトップメーカーに成長することができました。

技術力を高めながら成長 サステナブルな存在へ

弊社ではトレーラーハウスおよびシャーシを工場でライン製造し、高品質かつ大量生産が可能です。完成した製品はグループ会社の日本けん引輸送株式会社が全国どこでも輸送し、敷地内への設置などを行います。トレーラーハウスに関する特許・実用新案を多数取得しており、シャーシについては国土交通省による型式認証を日本で初めて取得しました。こうした強みを備える同業他社はほとんど見当たりません。当社が製造するトレーラーハウスは車検付きのものです。車検を取得することでナンバーが交付され、公道での移動が可能になります。また、車両扱いとなれば不動産ではないため、固定資産税や不動産取得税は課せられません（自動車税などは発生します）。利便性や維持コスト面のメリットがあるわけです。トレーラーハウスは移動してくり返し使い続けられる、環境に優しいサステナブルな存在としても注目されています。ニーズに応え、世の中がより一層暮らしやすくなるものを創り出すことを当社は経営理念としています。

幹部候補生が重要課題 必要なのは「想い」

トレーラーハウス業界は伸びしろがあり、私たちの会社も発展途上です。次のステージに進むには社員のさらなる成長と、新たな人材の確保を重要課題としています。採用については人の役に立つ商材として、トレーラーハウスを届けたいという想いを持っていることが唯一の条件で、それ以外は特別何も問いません。トレーラーハウスに関する知識は入社してから学べますし、配属された職種ごとに先輩社員によるOJT教育もあります。当社はフラットな組織で、上司・部下の立場に関係なく意見を出し合えます。仕事熱心な社員が多く、集団になるとチームワークを発揮します。法人契約するグランピング施設に無料で泊まれるなど充実した福利厚生も魅力のひとつです。トレーラーハウスが文化として根付く未来に向けて共に歩む仲間、将来の幹部候補生をお待ちしています。



▲国内最大級のトレーラーハウス・専用シャーシ製造工場。ここで製造した製品を、全国に納品している。

本社所在地
東京
製造

所在地
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町2－5　メトロシティ小伝馬町9F

TEL
03-6206-2641

設立
1991（平成3）年2月

従業員数
64名

売上高
26億2,800万円
［2026（令和8）年1月期］

事業内容
トレーラーハウスの製造、輸入、販売、レンタル、研究開発、輸送

企業公式サイト

Youtube

Instagram